

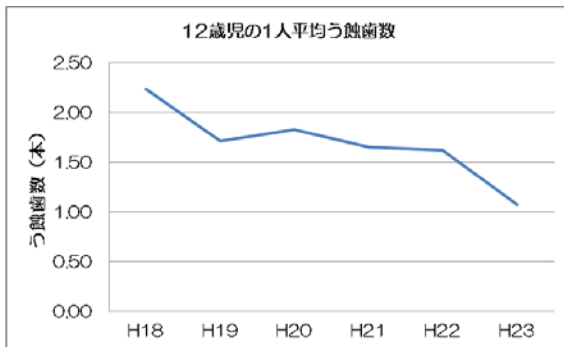
フッ化物洗口のご案内

むし歯は罹患率が高い上、学童期にむし歯になると進行が早いのが特徴です。むし歯を防ぐためには、食生活に気をつけ歯みがきをおこなうとともに、フッ化物（フッ素）を使うことで高い効果をあげることができます。

八潮市歯科医師会では、学童期のむし歯予防を推進するため、フッ化物洗口事業を行っています。

多くの児童に参加いただけるよう、保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

八潮市のむし歯状況（埼玉県歯科医師会より）



フッ素洗口は八潮市内全ての小学校で実施されています。



「フッ素」の効果

① 歯質の強化

歯の表面に取り込まれ、歯の質を強くします。

② 歯の再石灰化

初期虫歯の部分を元の歯質にもどします。

③ 細菌の活動を抑制

むし歯の原因菌の作る酸を抑えて、むし歯の発生と進行を予防します。

「フッ化物洗口」の実施方法

洗口を実施する場合は、洗口液で約60秒間洗口（ブクブクうがい）します。

洗口中は、すべての歯にまんべんなく洗口液がゆきわたるように行います。

洗口後30分間は、うがいや飲食物をとらないようにします。

「フッ化物洗口」の安全性

① 急性中毒

6杯全量飲みこまなければ急性症状（吐き気やおう吐）は発生しません。

② 慢性中毒

吸収されたうち、小児では60～70%が尿中に排泄されます。歯が白濁するという報告がありますが、永久歯はあごの中で4～5才ころまでには歯冠部（お口に出てくる部分）が完成していますので、心配いりません。